

## 『重なり響き合う園地』

沖縄本島の南端糸満市にある大度園地。訪れた人びとは、美しい景観や海辺でのレジャーを楽しむことができ、隣接する大度海岸はジョン万次郎が上陸した地として歴史的な一面も併せ持つ場所でもあります。今回の計画は、建物の構造的な耐久性や機能だけでなく、人びとがこれからも残したいと思えるように親しみのあるデザインにすることで長く愛され続ける寿命の長い建物になるよう思いを込めました。



■ 建物ダイアグラム：2つの建物の形状はジョン万次郎とつながりのある舟の形状からそれぞれイメージしています

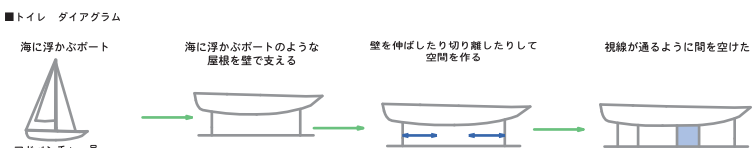
### ■ 休憩所 ダイアグラム

前進する船 風を受け船を前進させる原動力となる帆 屋根を帆に見立てて壁で支える 多様な形状の帆が重なるように、曲線の屋根が重なる休憩所とした

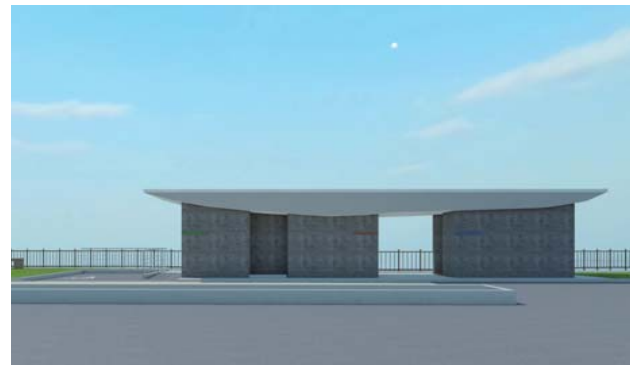


### ■ トイレ ダイアグラム

海に浮かぶボート 海に浮かぶボートのような屋根を壁で支える 壁を伸ばしたり切り離したりして空間を作る 視線が通るように間を空けた



アドベンチャー号  
ジョン万次郎が琉球へ上陸する  
際に使用したボート



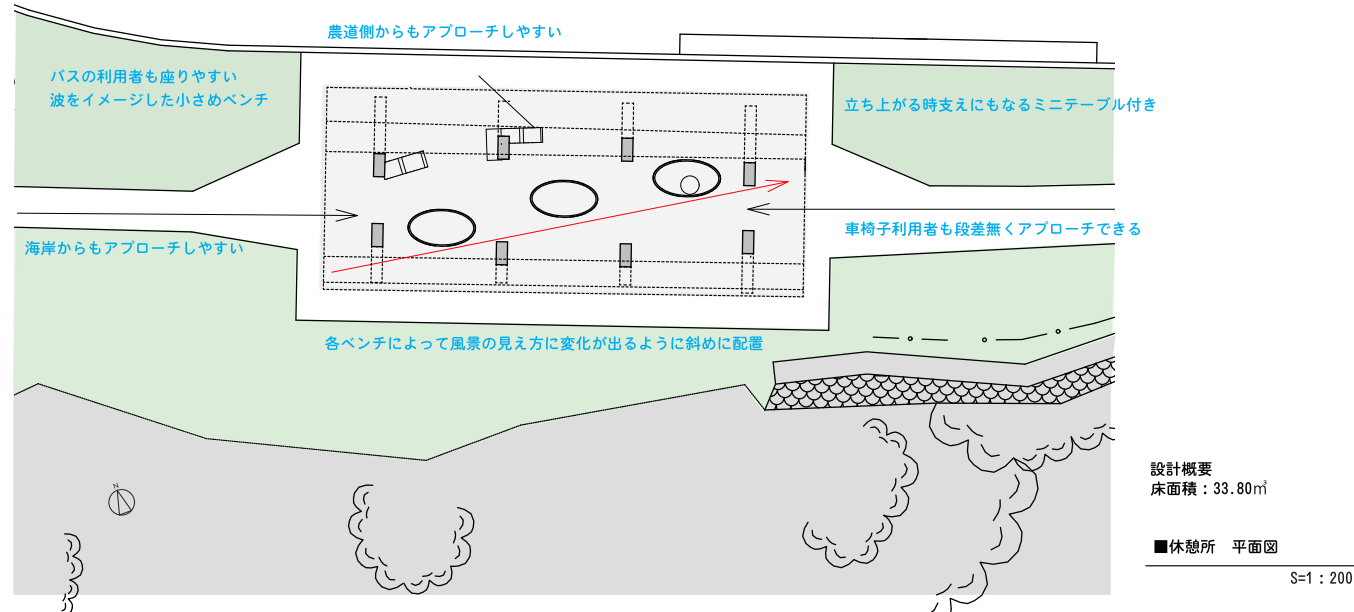
公衆トイレ：壁の間から海に向けて視線が通ることで建物と景色が重なる。



休憩所：屋根の重なりの中から空と海が見えることで景色を取り込む。



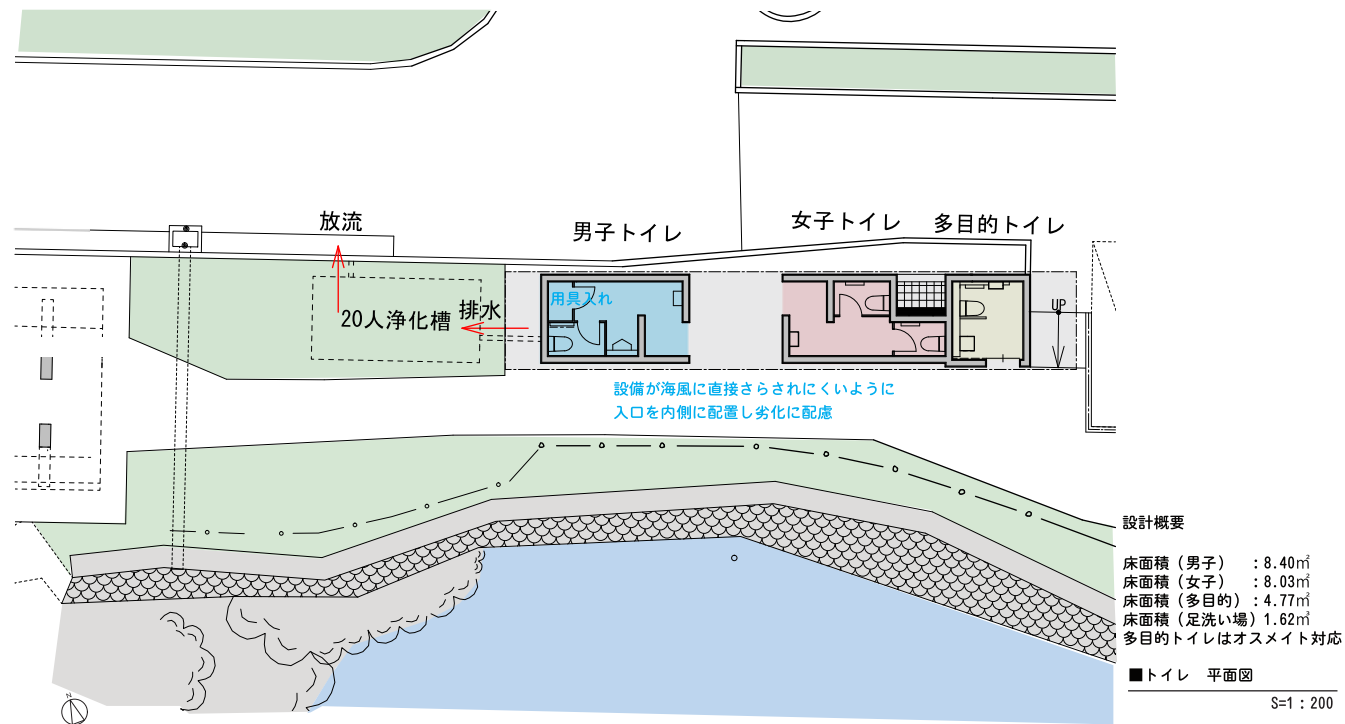
配置図 海岸に面して施設を配置することで、利用者が景色を楽しめよう計画した。



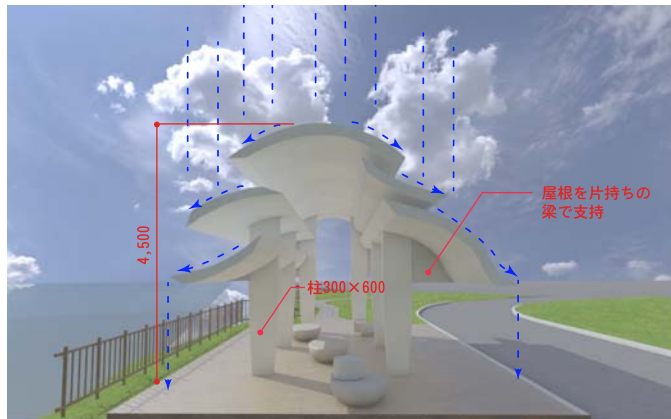
■動線計画について トイレや休憩所を遊歩道から直接利用出来るようにすることで車歩分離を図る



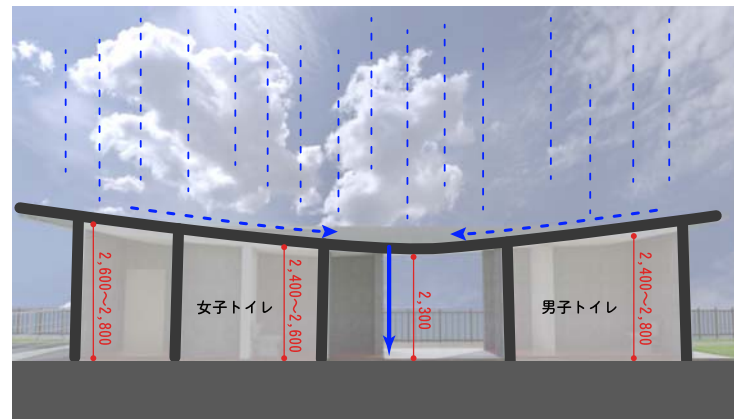
■敷地入り口からの見え方について 施設の入口からは、優しく訪れた人びとを迎えるように見えるデザインにしました。



■構造計画について



・休憩所  
高さの異なる屋根はそれぞれ柱にて荷重を支持し、出の大きい屋根については柱から片持ちで梁を持ち出して支持します。  
雨水については屋根の曲面のデザインに沿って屋根面から地表へと無理なく落とせる様に計画します。  
打放し補修の上、耐候性の高い塗材にて仕上げる事で耐久性に配慮します。



・トイレ  
壁式構造とし、船をイメージした屋根の荷重を壁で支持します。  
雨水については屋根をすり鉢状の形状とすることで中央に向けて水勾配を取り、集めた雨水を縦樋で中央の通路部分に落とした後、下部に設けた浸透樹にて処理します。  
樋の詰まり等に配慮し、屋根上部にオーバーフローを何か所か設けます。  
休憩所と同様に耐候性の高い塗材で仕上げる事で海沿いでの建物の耐久性に配慮します。